

サンデンフォレストを活用した総合的な学習の時間モデルプラン

単元名『 守ろう、豊かな赤城山の自然 』（5年または6年） 全35時間

単元のねらい

私たちが暮らす群馬県の森林についての現状や取組を調べることを通して、森林の働きやそれを守る人々の思いを知り、環境をよくするために自分たちができることを考えとともに、学んだことを生活に生かそうする態度を養う。

モデル単元作成の意図

本単元は、サンデンフォレストを活用して子供たちが自分たちが暮らす町（市）の環境問題について調べ、自分たちができる環境をよくするための取組を考えて、地域に発信することまでをイメージした学習プランです。

つかむ過程では、サンデンフォレストのスタッフから話を聞いたり、サンデンフォレストの森林の様子を見たりしながら、身近な地域の現状と比較することで、追究の見通しをもたせることができます。

追究する過程では、スタッフが情報提供したり質問に答えたりすることや、フォレストに関わる他団体と学校をコーディネートすることも可能です。自分たちの学習成果を発信する際にも、フォレストスタッフが学校に出向き、助言やアドバイスをすることも可能です。

体験活動を探究的な学習の中に取り入れることで、子供たちの深い学びが実現できるようなプランとなっています。

過程	主な学習活動	備考
つかむ (4)	<p>1. 探究課題（学習対象）と出会い、単元のめあてを把握する。（サンデンフォレスト） ○サンデンフォレストの森のガイドウォークを通して、そこがどのような森であるかを知り、日本の森の今・未来についての課題意識を持つ。</p> <p>（内容）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・林業をする人が減った。 ・森は手入れをしないと荒れる。 ・生き物の数が減っている ・外来種が増えている。 ・森が荒れると土砂崩れなどの災害の不安 ・川の氾濫にもつながる ・海の恵みがなくなる ・地球温暖化（CO2増加） <p>→持続可能な社会のためには、森を守っていく必要がある。</p> <p style="text-align: center;">単元の課題 赤城山の森の大切さを知り、赤城山の自然を守っていこう</p>	
追究する (30)	<p>2. 単元のめあてに基づき、個人・グループ等の課題を設定し、追究する。</p> <p>①課題の設定 →森を守る活動について知りたい。 →里山のためにできることは何だろう。どんな里山の姿だったらいいだろう。 →林業の仕事について知りたい。</p> <p style="text-align: center;">【課題】(グループ例) 今起きている「地球温暖化」問題の現状と自分たちの生活とのつながりを知ろう。</p> <p>②情報の収集（サンデンフォレスト） ・里山の保全活動をしている人の話を聞く。保全活動を見に行く。 ・森を守る活動について調べる。 ・林業体験を試みる。（見学・体験） →森を守るためには、木を伐り下草を刈り新たに木を植える必要がある。 →間伐材の有効活用も森を生かす一つの方法なんだな。</p> <p>③整理・分析 ・課題の解決にむけて体験したことや、調べた情報を整理する。 ・森を守るために必要な活動（保全活動）についてまとめる。</p> <p>④まとめ・表現 ・全校児童、保護者、地域の人に発表する。 →自分たちも、森を守る活動してみたい。 →どんなことが自分たちにできるだろうか。・・・間伐・下草刈り・植林（ほかには？）</p>	<p>課題例</p> <ul style="list-style-type: none"> ○外来種 ○林業の現状と課題 ○人と森とのつながり ○里山について ○地球温暖化と森の果たす役割 <p>日本の森林は、荒れたまま放っておかれた人工林が多くなっている。人工林の手入れをし、どんどん木を使い、新しい木を植えていかなければならない。 →森を守る活動をし、これからは生き物が住める森になるといいな。</p>
	<p>3. 新たな課題を見だし、継続して追及する。</p> <p>①課題の設定 →森を守る活動で自分たちにできることはないかな。 →間伐材を活用して、学校や地域に役立つものを作りたい。（例：椅子・机・看板・小屋・遊歩道・木札作りetc.）</p> <p style="text-align: center;">【課題】(グループ例) 「間伐材を利用したストップ温暖化プロジェクト」を実現するために、何をどのように発信したらよいだろうか。</p> <p>②情報の収集（サンデンフォレスト） ・間伐材を活用して役立つものを作ったり、木の有効活用について調べたりする。</p> <p>③整理・分析 ・自分たちの取組の良さ・効果について話し合う。</p> <p>④まとめ・表現 自分たちが考えた取組を、実践したり発信したりする。</p>	<p>赤城山の間伐材を使うことで行うことで赤城山の森を守ることにつながる。 →赤城山の間伐した木材を学校や地域の人のために役立てて日本の木をもっと使うように呼びかけたい。</p>
まとめる (1)	<p>4. 単元全体の学習を振り返る。</p> <p>○自分たちの取組の実践を通して学んだことをまとめる。</p>	<p>自然と人間、動植物が共存していることを学ぶことで、持続可能な社会にするために、どのような行動をとるべきか考えることにつながる。</p>